

第 537 回 難研セミナー

第 110 回 難治疾患共同研究拠点セミナー

下記により難研セミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日 時：平成 27 年 7 月 9 日（木）17:00～ 18:30

場 所：M&D タワー 9 階 大学院講義室 4

演 者：谷口 俊恭 博士

フレッド・ハッチンソンがん研究所 ハワード・ヒューズ医学研究所

演 題：DNA 修復と癌：Fanconi anemia-BRCA pathway.

要 旨：

DNA 損傷修復は癌の発生／治療の両方に深く関与する。DNA 修復の異常は突然変異蓄積による癌化を促進する。一方、DNA 修復の異常を有する癌は DNA 損傷剤による治療が効きやすい。Fanconi anemia-BRCA pathway は DNA 修復の癌への関与を理解するための格好のモデルであり、近年注目を集めている。Fanconi anemia (FA) (ファンコニ貧血) は高発がん、DNA interstrand crosslink (ICL) に対する高感受性を特徴とする遺伝疾患である。FA 遺伝子と乳癌卵巣癌感受性遺伝子 BRCA1, BRCA2 の産物蛋白は、DNA 修復を制御する FA-BRCA pathway を形成する。この pathway の異常はシスプラチンなどの抗癌剤に対する高感受性を引き起こす。

本講演では FA-BRCA pathway と、腫瘍におけるその失活機構及び再活性化機構を概説する。更にこの pathway の制御に中心的な役割を果たす蛋白複合体 (FA core complex) に関する最新の知見にも言及する。

また、最近我々は microRNA processing に関わる RNA 結合蛋白 DGCR8 が紫外線抵抗性及び DNA 修復に関与することを見だし、「DGCR8-mediated UV response pathway」という概念を提唱している。このトピックにも言及したい。

連絡先 (主催)：幹細胞医学分野・西村 栄美 (内線：4651)

(共催)：分子遺伝分野・三木 義男 (内線：5825)